

新聞活用し力付く

教諭ら54人が講座受講

教育への新聞活用(NIE)を支援する教師向け講座「レッツチャレンジ! NIE」(琉球新報社主催、県教育委員会後援)が21日、那覇市天久の琉球新報本社で開かれ、教育関係者54人が参加した。NIEアドバイザーの佐久間洋伊平屋小教諭は「ゼロから始めるNIE」(伊平屋小児童4カ月の変容)と題し、新聞活用における同校児童の成長を報告。



新聞を活用したワークショップに取り組み参加者ら。21日、那覇市天久の琉球新報本社

「1分間スピーチ」や、登校して10分間新聞を読む「新聞タイム」を紹介。日常的に継続することで力が付くとした。教師の支援として「児童のつまずきどころを見極め、対話形式で考えを引き出すことが大切だ」と話した。



第2部は仲程俊浩豊見城中教諭が、オリンピック記事を使った新聞づくりのワークショップを実施した。参加した我如古香奈子名護商工高教諭は「日々新聞に触れさせ、親しむことから始めたい」と意欲を示した。山内彰県NIE推進協

議学会長は「参加者が生き生きし、『今に生き、今を生かす』手段として新聞活用の良さを再認識した。読み解く力や確かな学力を身につける手法の一つにしてほしい」と期待した。同講座は2011年8月にスタートして4回目。